

## 南アジア4カ国 マーケットレポート

## 【株価指数の推移】 ※…現地通貨ベース

		終値	7月15日比
インド	S&P・BSE500種指数	11,585.96	1.97%
スリランカ	スリランカ コロンボ 全株指数	6,393.87	-0.45%
パキスタン	カラチ 全株指数	26,316.43	0.61%
バングラデシュ	ダッカ総合株価指数	4,538.26	0.01%

(出所：ブルームバーグ)

## 【為替(対円)の推移】

		終値	7月15日比
インド	インドルピー	1.5230	-2.56%
スリランカ	スリランカルピー	0.7000	-2.64%
パキスタン	パキスタドルピー	0.9740	-2.79%
バングラデシュ	バングラデシュタカ	1.3027	-2.64%

(出所：ブルームバーグ)

## 【各国の市況・トピックス】

## 【インド：夏国会、GST法案の行方に注目】

インド株式市場は上昇基調を維持しました。21日、国際通貨基金(IMF)は世界経済の先行き不透明感の高まりから、成長率見通しを下方修正しました。また、G20財務相・中央銀行総裁会議に向けた報告書では、中長期的に成長を支援する政策に注力すべきとの見解を示しました。2016・17年度のインド成長率見通しは、ともに4月から▲0.1%の+7.4%へ見直されたものの、高い成長率を保っていることや、各国政策当局の景気下支え策に対する期待感が相場を支えました。また、7月の連邦公開市場委員会(FOMC)で金利が据え置かれたことも支援材料となりました。現在開催されている夏国会(7月18日～8月12日)において、物品サービス税(GST)法案成立に向けた野党との条件交渉が合意に至ったとの報道もあり、モディ改革に明確な進展が見られれば、一段の相場上昇が期待されます。

## 【スリランカ：インフレ抑制のため、政策金利を予防的に引き上げ】

スリランカ中央銀行は、28日に開催した金融政策決定会合で政策金利を0.5%引き上げ、7.0%としました。5月の民間部門貸し出しは、前年同月比+28%と順調な伸びを示し、30日に発表された6月の消費者物価指数(CPI)は前年同月比+6.0%と、5月から伸びが加速しました。2月の利上げに続き、インフレの加速を未然に防ぐとの当局の強い意志が感じられます。

## 【パキスタン：中央銀行、インフレ動向を注視】

パキスタン国立銀行(中央銀行)は、30日に開催した政策決定会合で政策金利を5.75%に維持しました。声明文によれば、2016年度(2015年7月～2016年6月)の国内総生産(GDP)は4.7%の拡大と8年ぶりの高成長を達成し、また、CPIは前年比+2.9%と47年ぶりの低水準でした。6月CPIは前年比+3.2%と僅かに加速の気配を見せていますが、中銀目標値(6%)を遥かに下回る水準にとどまっています。ただ中銀は、資源価格低迷の寄与が大きいため、今後のインフレ動向を注視していく必要があるとしています。

## 【バングラデシュ：中央銀行、成長支援とインフレ率安定のバランスを考慮】

バングラデシュ中央銀行は、26日に2017年度上期(2016年7月～2016年12月)の金融政策を発表しました。同国の民間部門貸し出しは数年にわたって2桁の伸びを維持しており、2017年度も前年比16.5%の伸びを予想しています。一方、資源価格の低迷や食品価格の下落により現在のインフレ率は低位にとどまっていますが、可処分所得の向上がインフレ圧力になりつつあります。中央銀行は成長とインフレ抑制を両睨みにした難しい政策運営が求められています。

## 当資料のお取り扱いにおける注意

当資料はアストマックス投信投資顧問株式会社が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当資料は、信頼できると判断した情報に基づいて作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料中に記載している内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更することがあります。当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆しない保証するものではありません。

信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者の皆様に帰属します。投資信託の取得のお申込みには、販売会社から目論見書等をお渡しいたしますので、必ず内容をご確認のうえ、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。

投資信託は、預貯金や保険契約にはあたりませんので、預金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。

## 南アジア4カ国 マーケットレポート

【株価指数の値動き】〔期間：2015年10月1日～2016年7月29日、現地通貨ベース〕

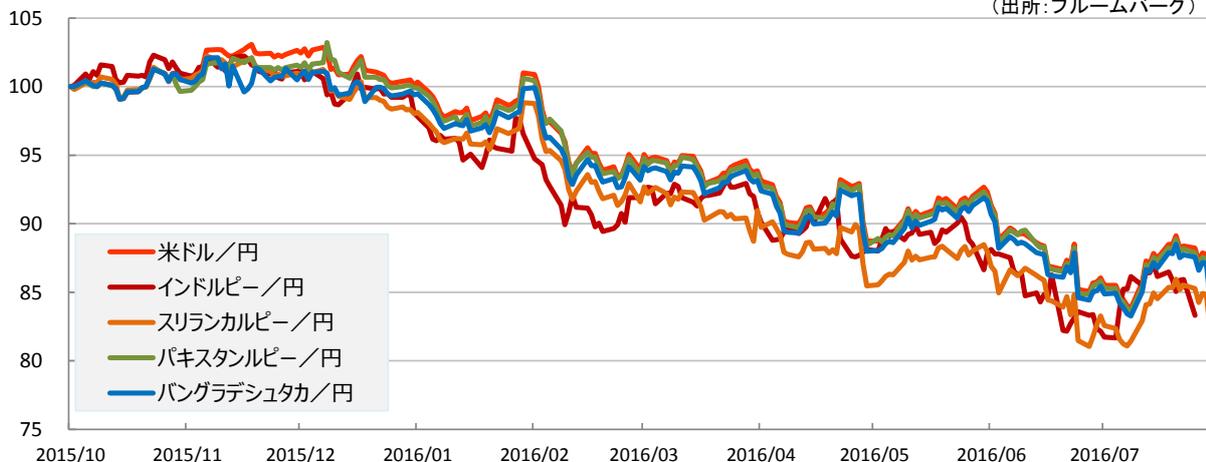
(出所：ブルームバーグ)



【為替の値動き】

〔期間：2015年10月1日(基準日)～2016年7月29日、基準日を100として指数化〕

(出所：ブルームバーグ)



### 当資料のお取り扱いにおける注意

当資料はアストマックス投信投資顧問株式会社が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当資料は、信頼できると判断した情報に基づいて作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料中に記載している内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更することがあります。当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆ないし保証するものではありません。

信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者の皆様に帰属します。投資信託の取得のお申込みにあたっては、販売会社から目論見書等をお渡しいたしますので、必ず内容をご確認のうえ、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。

## 南アジア4カ国 マーケットレポート

### 投資信託の主なリスク

投資信託は、主に国内外の株式や債券、その他の有価証券等を投資対象としますので、組入有価証券等の価格の下落や、組入有価証券等の発行会社の倒産や財務状況の悪化、為替の変動等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金とは異なります。運用の結果としてファンドに生じた利益および損失は、すべて受益者の皆様に帰属します。

投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、投資市場、投資対象国などが異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資にあたっては目論見書や契約締結前交付書面等をよくご覧ください。

### お客様にご負担いただく主な費用

ご投資いただくお客様には以下の費用をご負担いただきます。

- 申込時に直接ご負担いただく費用……申込手数料 上限3.78% (税抜き3.50%)
- 換金時に直接ご負担いただく費用……信託財産留保額 上限0.5%
- 投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用……信託報酬 上限2.376% (税抜き2.20%)
  - ※一部のファンドについては、運用成果等に応じて実績報酬をご負担頂く場合があります。
  - ※ファンド・オブ・ファンズの場合は、ファンドの投資対象とする投資信託証券の信託報酬等が別途かかります。
- その他費用……上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。  
当該費用は運用状況等により変動しますので、事前に料率、上限額等を示すことができません。

上記に記載しているリスクや費用項目は一般的な投資信託を想定しています。

費用の料率につきましては当社が運用するすべての投資信託のうち最高の料率を記載しています。手数料の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。投資信託に係るリスクや費用は、各投資信託により異なりますので、ご投資に当たっては、目論見書や契約締結前交付書面をよくご覧ください。



## アストマックス投信投資顧問株式会社

〒141-0022 東京都品川区東五反田2-10-2 東五反田スクエア5階

商号等： アストマックス投信投資顧問株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第387号

商品投資顧問業者 農経(1)第21号

加入協会： 一般社団法人投資信託協会 / 一般社団法人日本投資顧問業協会

一般社団法人 第二種金融商品取引業協会 / 日本商品投資顧問業協会

### 当資料のお取り扱いにおける注意

当資料はアストマックス投信投資顧問株式会社が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。当資料は、信頼できると判断した情報に基づいて作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。当資料中に記載している内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更することがあります。当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆しない保証するものではありません。

信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者の皆様に帰属します。投資信託の取得のお申込みに当たっては、販売会社から目論見書等をお渡しいたしますので、必ず内容をご確認のうえ、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。

投資信託は、預貯金や保険契約にはあたりませんので、預金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。